

四日市大学成長スケール：2017年度の取り組みと今後に向けて

副学長（教育・学生支援担当）：小林 慶太郎
 教育・学生支援部次長：上岡 定行
 調査担当者（総合政策学部准教授）：齋藤 信

I. これまでの実施状況

入学年		高校卒・入学	1学年末	2学年末	3学年末	4学年末・卒業
2017入学生 (緑ファイル引継)	実施年月	2017年4月				
	調査票	人間たれ				
	担当ゼミ	1学年前期ゼミ				
2016入学生 (黄ファイル)	実施年月	2016年9月	2017年3月			
	調査票	ガイダンス	ガイダンス			
	担当ゼミ	1学年後期ゼミ	2学年前期ゼミ			
2015入学生 (青ファイル)	実施年月	—	—	2017年3月	2017年12月	
	調査票	—	—	ガイダンス	3学年後期ゼミ	
	担当ゼミ	—	—	3学年前期ゼミ	3学年後期ゼミ	
2014入学生 (赤ファイル)	実施年月	—	—	—	2016年12月	2017年12月
	調査票	—	—	—	3学年後期ゼミ	4学年後期ゼミ
	担当ゼミ	—	—	—	3学年後期ゼミ	4学年後期ゼミ
2013入学生 (緑ファイル)	実施年月	—	—	—	—	2016年12月
	調査票	—	—	—	—	4学年後期ゼミ
	担当ゼミ	—	—	—	—	4学年後期ゼミ

II. 測度と調査手続き

四日市大学成長スケール 2016年度作成版。9個の成長指標と4段階（+ あてはまらない）のルブリックの形式を基本としている。学生の調査票記入後に、教員との面談を行い、段階（Step）を決定する。

III. 主な結果

1. 全学：分析対象者 736名

①成長指標において平均値が高かったのは、【向上心と努力・挑戦】、【相手を尊重したコミュニケーション】であった。一方、平均値が低かった成長指標は、【地域への関心と貢献】であった。（表1）

②課外・地域活動と成長指標の関連

課外・地域活動をしている学生は、していない学生に比べて、全ての成長指標の平均値が有意（傾向）に高い。（表2）

2. 学年別：2016入学生の分析対象者 146名（2016年度前期末⇒2016年度後期末）

①成長指標全体の分布において、Step 1、Step 2の割合は減少していた。一方、Step 3、Step 4の割合は増加していた。（表3）

②成長指標全体の推移において、最も割合が多かったのは、「変化なし」であり、次に割合が多かったのが「上昇」であった。最も割合が少なかったのが、「下降」（16.5%）であった。（表3）

IV. 考察

1. 成果と意義

四日市大学成長スケールの取り組みは、本学学生の「(教員の見解の補助を得た) 自分の成長した意識」を捉えたものになっていると考えられる(表1;表3)。実施する意義としては、「学生にとって自分を振り返る ②教員にとって学生の状況を知る ③大学にとって教育方針を見直す ④地域にとって本学の教育を検証する」ための機会になることであると考えられる。

2. 留意点と課題

成長指標【地域への関心と貢献】において、学生の成長した意識が十分に高まっていない可能性が考えられる(表1)。原因としては、「地域の大切さ」「地域の捉え方」「地域について学ぶ授業・活動」が学生に十分に伝わっていない可能性も考えられる。課外・地域活動は学生の成長した意識を高めるものであり(表2)、これらの活動への参加を促すためにも、前述の点を学生に分かりやすい形で伝えていくことが今後の課題であると考えられる。

3. 今後の展開

地域志向科目の整備と位置づけの明確化、アクティブ・ラーニングの導入に関連させて、これらの科目がどのように学生に成長に寄与しているかの検証(効果測定)に、成長スケールを用いることが考えられる。

表1 全学：成長指標の結果

成長指標	Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	合計	平均値
1. 目標	120	260	265	91	736	2.44
2. 主体性	91	304	243	98	736	2.47
3. 向上心	74	265	263	134	736	2.62
4. 知的関心	135	218	341	42	736	2.39
5. 地域	253	321	110	52	736	1.95
6. 情報	114	249	286	87	736	2.47
7. コミュ	94	159	342	141	736	2.72
8. 社会規範	35	318	306	77	736	2.58
9. 役割責任	91	277	234	134	736	2.56

表 2 全学：課外・地域活動と成長指標の関連

成長指標	あり (n=103)	なし (n=633)	t値
1. 目標	2.69 (0.87)	2.40 (0.91)	2.97**
2. 主体性	2.75 (0.89)	2.43 (0.86)	3.47**
3. 向上心	2.86 0.84	2.58 (0.90)	2.99**
4. 知的関心	2.58 (0.73)	2.36 (0.86)	2.74**
5. 地域	2.72 (0.95)	1.82 (0.80)	9.04**
6. 情報	2.79 (0.82)	2.42 (0.89)	3.92**
7. コミュ	2.96 (0.87)	2.68 (0.92)	2.89**
8. 社会規範	2.71 (0.80)	2.56 (0.73)	1.94 [†]
9. 役割責任	2.78 (0.93)	2.52 (0.92)	2.59**

注)**p<.01, [†]p<.10. 分散の等質性の仮定が満たされない場合はWelchの検定を行った。

各成長指標の上段が平均値, 下段の()が標準偏差である。

表 3 学年別：2016 入学生の 2 時点の変化

実施時点	前期	後期	増減
Step 1	29	18	-11
Step 2	66	53	-13
Step 3	38	59	20
Step 4	12	17	4
参加者数	146	146	0

注) 平均値

推移	参加者数	割合
変化なし	65	44.7%
上昇	57	38.8%
下降	24	16.5%
参加者数	146	100.0%

注) 平均値